

みずほCustomer Desk Report 2016/11/15号(As of 2016/11/14)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	107.38
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	106.88	1.0823	115.64	0.9900	1.2580	0.7547
SYD-NY High	108.54	1.0840	116.51	1.0002	1.2590	0.7565
SYD-NY Low	106.50	1.0709	115.56	0.9887	1.2445	0.7524
NY 5:00 PM	108.44	1.0737	116.41	0.9978	1.2488	0.7554
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.71/12.27	Δ 25RR	1.213	Yen Call Over		
NY DOW	18,868.69	21.03	債券市場	日本2年債	-0.2090	3.0bp
NASDAQ	5,218.40	▲ 18.72		日本10年債	-0.0090	1.3bp
S&P	2,164.20	▲ 0.25		米国2年債	1.0023	8.7bp
日経平均	17,672.62	297.83		米国5年債	1.6819	12.5bp
TOPIX	1,400.00	21.72		米国10年債	2.2614	11.1bp
シカゴ日経先物	17,720	280.00		独10年債	0.3190	1.1bp
ロンドンFT	6,753.18	22.75		英10年債	1.4080	4.4bp
DAX	10,693.69	25.74	為替市況	豪10年債	2.6570	9.1bp
ハンセン指数	22,222.22	▲ 308.87		USD/CNH	6.8556	0.0330
上海総合	3,210.37	14.33	商品市況	ドルインデックス	100.11	1.05
USDJPY 3M Vol	12.12	0.22%		CRB指数	180.255	▲0.49
USDJPY 6M Vol	12.16	0.15%		NY金	1,221.70	▲2.60
EURJPY 3M Vol	11.48	0.19%		WTI	43.320	▲0.09
EURJPY 6M Vol	12.39	0.26%		Dubai Spot	41.84	▲0.84

東京	週明けのドル円相場は、トランプ新政権に対する期待感や年内利上げ観測の高まりなどを背景にドル買い優勢の展開が続く中、東京時間は106.88レベルでオープン。朝方発表された本邦第3四半期GDP・速報値が前年比2.2%と市場予想(0.8%)を大幅に上回る結果となり、日経平均株価も前営業日比プラスで寄り付く、ドル円は107円ちょうどを上抜けると目先のストップロスを巻き込みながら107円台半ばまで急進。午後に入り、堅調推移する日経平均や米長期債利回りの上昇などを背景に、ドル円も一時107.65まで上昇。その後も107円半ば付近で底堅く推移し、結局107.62レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は、107.62レベルでオープン。韓系電気大手の米社買収観測からドルが買われやすい地合いの中、米債利回りの上昇を背景に、ドル指数が11カ月ぶりの高水準となり、ドル円も108.16円まで上昇。その後は、利益確定のドル売りも見られる中107.85レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2537でオープン。国民投票後、655億ポンドの投資が中止・延期となった調査結果や、英政府が50条発動後も手続き取り消しを可能とする法解釈を模索しているとの英紙報道などを背景に先行き不透明感が強まったこと等から、1.2465まで下落するも、英政府報道官が「50条発動後の取り消しは不可」と同報道を否定したこと、序盤の下げを消し、1.2532でNYに渡った。ユーロドルは、1.0785でオープン。来年、仏、独、蘭で選挙が予定されているが、直近の世論調査でメルケル独首相の与党支持率が過去最低29.5%に低下する等、欧州政局の不透明感が強まる中、米ドルが対ユーロで買われる展開。ECB副総裁が、欧州ソブリン債利回りの急上昇にECBが対応する必要はないと発言すると、緩和期待の後退等からユーロは1.0789まで買い戻され、結局1.0765レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	ニューヨーク時間のドル円相場は107.85レベルでオープン。トランプ氏の大型減税やインフラ整備など大胆な財政刺激策に市場は期待を高め、インフレや財政赤字が拡大するとの見方から米長期債利回りが上昇する中、ドル円は108円台まで上昇。ダウ平均は本日も買い先行で始まり、最高値を更新する動きに、ドル円もロンドン時間の高値108.16付近にあったストップをつけるー一時108.54まで値を上げた。午後に入り、ダウ平均が一時下げに転じるとドル買いも一服となり、ドル円は一旦107.93まで軟化するも、108円割れの水準では押し目買いが断続的に観測され、再び本日高値水準の108.54に戻した。その後もドル円は日米金利差拡大期待から堅調な推移が続き108.44レベルで海外市場へ渡った。一方、ユーロドルは1.0763レベルでオープン。トランプ氏の経済対策への期待感から、米長期債利回りが前週から一段と水準を上げる中、本日もドル買いが続き、ユーロドルは2015年12月3日以来のユーロ安・ドル高水準となる一時1.0709まで下落した。その後、ユーロドルは1.0759まで下げ渋るも上値は重く1.0737レベルで海外市場へ渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:坂本・鶴田

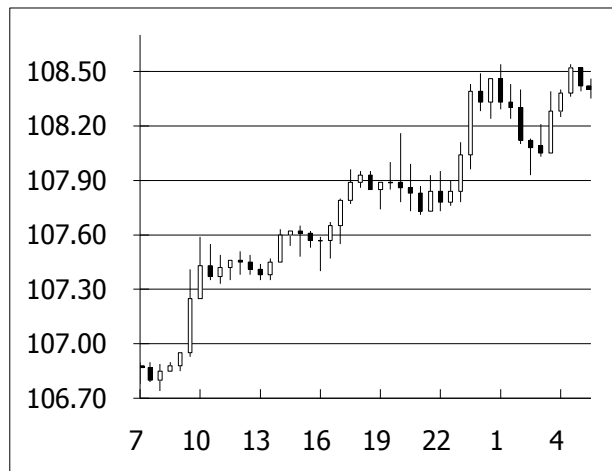
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月14日	08:50	日 GDP・速報値(前月比/前年比)	第3Q 0.5%/2.2%	0.2%/0.8%
	10:00	黒田日銀総裁講演	—	—
	11:00	中 鉱工業生産/小売売上高/固定資産投資(前年比)	10月 6.1%/10.0%/8.3%	6.2%/10.7%/8.2%
	19:00	欧 鉱工業生産(前月比/前年比)	9月 -0.8%/1.2%	-1.0%/0.9%
11月15日	03:20	米 カブラン・ダラス連銀総裁講演	—	—

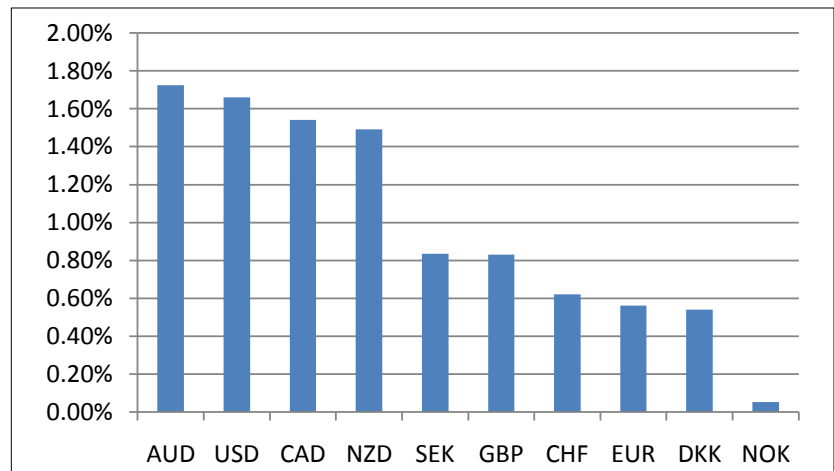
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月15日	07:00	米 ラッカー・リッチモンド連銀総裁講演	—	—
	08:30	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁講演	—	—
	16:00	独 GDP・速報値(前月比/前年比)	第3Q 0.3%/1.8%	0.4%/1.8%
	18:30	英 CPI(前月比/前年比)	10月 0.3%/1.1%	0.2%/1.0%
	18:30	英 小売物価指数(前月比/前年比)	10月 0.2%/2.3%	0.2%/2.0%
	19:00	独 ZEW調査(現状/期待)	11月 61.6/8.1	59.5/6.2
	22:00	米 ローゼン格林・ボストン連銀総裁講演	—	—
	22:30	米 小売売上高(前月比)	10月 0.6%	0.6%
	22:30	米 輸入物価指数(前月比)	10月 0.4%	0.1%
	22:30	米 NY連銀製造業景気指数	11月 -2.5	-6.8
	23:05	米 タルーロFRB理事講演	—	—
11月16日	03:30	米 フィッシャーFRB副議長講演	—	—
	03:30	米 カブラン・ダラス連銀総裁講演	—	—

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.00—109.00	1.0700—1.0800	115.80—116.80

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は続伸した。トランプ新政権による景気底上げ策への期待感が残存する中、韓系電気大手による米企業買収報道やカブラン・ダラス連銀総裁のタカ派的な発言が報じられ、ドル買い優勢の展開。米10年債金利が2.3%近辺まで上昇する中、ドル/円は今年6月以来約5ヶ月ぶりの高値となる108.54まで上昇した。その後一旦は107円台後半まで下落する局面もあったものの、結局108円台半ばまで戻している。本日のドル/円は、底堅い推移を予想。本日は米10月小売売上高や米11月NY連銀景況感指数の発表を予定しており、良好な結果となれば米年内利上げ観測がサポートされドル/円も下支えされるだろう。また、昨日トランプ氏は強制退去させると発言していた不法移民について犯罪歴のある者などに限定するなど、現実路線への修正を行っている印象を持つ。こうした発言も選挙前までに警戒されていた「トランプリスク」を一段と後退させ、ドル円の上昇をサポートするだろう。